

2022 年度 卒業研究発表会プログラム

2023 年 2 月 14 日(火) 全保連ステーション(大学会館)3 階

午前: A グループ 09:00~10:19、 B グループ 10:30~11:57

午後: C グループ 13:00~14:28、 D グループ 14:40~15:52

<午前の部>

8:50

化学系主任 あいさつ (荻原和仁)

9:00~10:19

A グループ 10 名 口頭発表 (座長:安里英治)

1.	大塚 脩太 (米蔵)	機械学習による 10 族から 14 族元素の判別
2.	長野 惟織 (米蔵)	画像の機械学習による 8 族・9 族元素の判別の研究
3.	比嘉 大輔 (米蔵)	画像解析による 2-5 族元素と 2-14 族元素間の視覚相関
4.	中村 哲平 (中川)	堆肥化反応における NH ₃ 定量・回収装置開発
5.	濱川 大奈 (中川)	AB ₂ 型水素吸蔵合金を用いた CO ₂ 転化反応条件の比較
6.	照屋 佑 (中川)	アンモニアボラン-有機溶媒二元系における溶解度と相平衡の研究
7.	城間 亮太 (新垣)	琉球大学で採取された大気エアロゾルに含まれる金属成分の起源の特定
8.	赤嶺 藍 (新垣)	台風時の大気エアロゾルに含まれる有機物および界面活性剤について
9.	山城 壮 (新垣)	沖縄県と長崎県にて採取された大気エアロゾルに含まれる金属成分に関する研究
10.	福原 加乃 (新垣・佐伯)	大気エアロゾルに含まれる有機物の分画と FTIR 解析

休憩・換気 (10:19~10:30)

10:30~11:57

B グループ 11 名 口頭発表 (座長:田中淳一)

11.	田幸 周磨 (又吉)	Li ⁺ イオンガラスセラミックス素子を用いた溶存 CO ₂ センサの海水中適用に向けた妨害物質の検討
12.	Song Haozhi (荻原)	ゲットウの舌弁の成分研究
13.	宮城 墨 (玉城)	液中レーザーアブレーションによるペリレンナノ粒子の生成の臭化セチルトリメチルアンモニウム濃度依存性
14.	金城 侑真 (玉城)	液中レーザーアブレーションによるコロネンナノ粒子の生成のドデシル硫酸ナトリウム濃度依存性
15.	上原 悠 (玉城)	ペリレンバルク結晶とペリレンコロイド粒子の性状の研究
16.	玉城 悠賀 (安里)	ホスト-ゲストケミストリーを指向したピリジン修飾型大環状配位子の錯形成挙動
17.	上原 佑斗 (安里)	溶媒配位が及ぼす Co-OH-Co ニ核コアの構造変化
18.	小橋川 凜 (安里)	二核化大環状配位子への配位性修飾基置換による錯体反応性の制御
19.	高野 奨 (藤村)	サンゴ礁の砂礫に着生する藻類のクロロフィル量
20.	下川 紗輝 (藤村)	サンゴスリックの元素組成を指標とした古環境の推定
21.	仲宗根 直人 (藤村)	サンゴ礁砂礫の間隙水に含まれる溶存有機炭素・窒素の定量

休憩・換気 (11:57~13:00)

<午後の部>

13:00~14:27	Cグループ 11名 口頭発表 (座長:玉城喜章)
22. 荒木 日奈子 (有光)	新規アミノ酸誘導体の合成
23. 高原 景大 (有光)	新規な第一級アミン触媒の合成
24. 新垣 翔琉 (漢那)	水-アセトニトリル混合溶媒中におけるピラニンの蛍光挙動
25. 與那嶺 響 (漢那)	エポキシ樹脂中における2-ナフトールの蛍光挙動
26. 仲村 知樹 (漢那)	種々の哺乳類の血清アルブミン存在下におけるスピロピランの フォトクロミズム
27. 田口 大希 (土岐)	与那国島南東部断層帯周辺における炭酸塩脈の形成メカニズム
28. 宇都宮 琉河 (土岐)	軽石中の希ガス同位体比を用いた福徳岡ノ場におけるマグマの起源
29. 廣渡 藍之 (土岐)	PMF法を用いた沖縄県辺戸岬におけるエアロゾルの粒径別起源 解析
30. 永島 一輝 (滝本)	極限環境下におけるPtナノシート担持触媒の高耐久化
31. 岸本 玲奈 (滝本)	酸化還元分子の束縛効果に対する炭素物性の特徴理解
32. 桂原 紅桜 (滝本)	有機レドックス分子の速度論的解析に向けた束縛反応場の応用

休憩・換気(14:27~14:40)

14:40~15:51	Dグループ 9名 口頭発表 (座長:新垣雄光)
33. 内田 雄太 (鈴鹿)	触媒的不斉反応を用いた縮環型ジエン配位子の合成
34. 下門 あいか (鈴鹿)	完全水中系での求核付加反応に用いるRh触媒の改良
35. 西原 諒 (鈴鹿)	光学活性なジエン配位子の合成と触媒への応用
36. 三好 恒輝 (田中・城森)	海洋生物からの低pH選択的がん細胞増殖阻害物質の探索
37. 堤 結菜 (田中・城森)	<i>Heteroxenia</i> 属ソフトコーラルからのセスキテルペン類の化学構造
38. 藤井 冬 (田中・城森)	ソフトコーラル <i>Sarcophyton</i> 属由来ジテルペン酸化酵素遺伝子の探索
39. 石川 栄作 (島田)	遮蔽物を透過した紫外線の測定法開発
40. 知念 勇磨 (島田・佐伯)	二次的に発生した大気中アミン類の検出に向けた測定法の検討
41. 金城 杏華 (高良)	オレフィン類の触媒的空気酸化反応の実現

15:51~

閉会のあいさつ(卒業研究発表会世話係)